

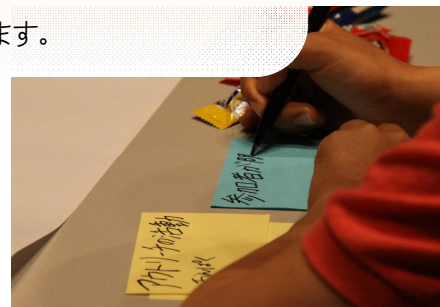
ながくて文マス LETTER

長久手市文化マスタープラン策定に関する情報をお届けします！

VOL.2

2017
09

文化マスタープランは長久手市の文化行政の指針です。初版は19年前に策定され、“ともに創る きらめく長久手”を目指し、長久手らしい文化の創造と振興のため、このプランに基づき様々な事業を展開してきました。今年度、10年ぶりに文化マスタープランを改定するため、そのプロセスを市民の皆さんにお知らせします。



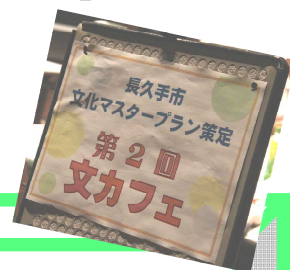
第2回文カフェ、充実のひととき！

8月26日(土)、文化の家森のホールの舞台上で“第2回 文カフェ”が行われました。

文カフェとは、文化マスタープラン策定へ向けて、市民の皆さんと気軽に意見交換やワークショップを行うミーティングのことです。今回は、市職員から文化マスタープラン策定への道のりの説明と、文化の家の事業紹介を聞いたあと、文化の家創造スタッフの石川貴憲さんによるサックスの演奏がありました。石川さんの演奏とトークに皆さん惚れ惚れ！その後「活動・体験」や「子ども向けのイベント」などについて、意見交換を行いました。

実際に動いてみて、
みえてくるもの

TALK



長久手市内にある愛知県立芸術大学を卒業してまもなく、文化の家で創造スタッフとして活動することになりました。音楽や楽器に親んでもらうために、親子がいる会場では有名なアニメのテーマ、年配の方向けには「津軽海峡冬景色」などを演目に取り入れたりしますが、その後しっかりクラシックの曲を聴かせます。

色々と活動していくうちに、自分の考え方や感覚が180度変わりましたね。どういう音を創りだしていこうか、こんなコンサートをやってみたいな、と自分からどんどんわき出てくるようになりました。

僕はアーティストですが長久手市民でもあります。みなさんにも文化を通じてたくさんの経験をして、たくさんの発見をしていってほしいですね。



文化の家創造スタッフ
石川貴憲さん

誰か（どこか）がリーダーシップをとっていかないといけないのでは。それはやっぱり文化の家？



上質な海外のお芝居は継続してほしい！

ハードルが高すぎてもいけないが、（公演などの）質は大切にすべき。

さまざまな講座や発表の場があるのは素晴らしい！

アーティストと市民が直接交流できる場があるとよい！

子ども向け、親子向けのイベントは多いけど、大人だけで気軽に体験できる機会が意外とない…

“心の糧”を育てるまちへ

子どもも大人も、上質な文化に触れられる機会を！

おしゃれな森のホールの舞台上で行われたワークショップは、どんどん意見が飛び出しとても白熱したひとときとなりました。この日の参加者は文化の家利用者の方が多かったこともあってか、「文化の家が拠点となって文化を盛り上げてほしい」といった声が多く聞かれました。

様々な年代、立場のひとが集まれば、様々な感性や視点にふれることができます。それはマスタープランのためだけでなく、間違いなくみなさん一人ひとりのためにもなるでしょう。より多くの気づきが得られるよう、次回は誰かを誘って出かけてみませんか？

お知らせ

第3回文カフェ
9月23日(土) 10時
文化の家 北ガレリア

第4回文カフェ
10月14日(土) 10時
西小校区共生ステーション

第3回と第4回の文カフェも会場がそれぞれ違います。会場の雰囲気を楽しみつつ、トークに花を咲かせましょう！

テーマはそれぞれ「文化を活かす(まちづくり・社会包摂)」、「文化を創る・支える」を予定しています。

文化の家窓口または電話にてお申込みください。

市民スタッフ募集中！

文カフェやニュースレター発行を手伝ってくださる市民スタッフを募集しています。